

岐阜県 商店街だより



第371号 2015.7.21 7月号



発行元

岐阜県商店街振興組合連合会

岐阜市藪田南5-14-53

TEL058-277-1107

大垣

6/7(日)

街を総力で盛り上げる 元気ハツラツ市

■主催：大垣市商店街振興組合連合会

大垣市の中心商店街で毎月第1日曜日に開催されている「元気ハツラツ市」。6月7日は絶好の天気で、汗ばむほどの陽気でした。5つの商店街(本町、本町一番街、駅前、郭町、ブラツキ)が総力を挙げて、ワゴンセール、朝市、フリーマーケット、フードコーナー等々、盛りだくさんの内容で、午前10時から午後3時まで歩行者天国となり、人の往来が絶えませんでした。



▲賑わうフリーマーケット

メインステージの新大橋ステージでは、開会宣言に続き、赤坂幼保園児の歌と踊り、興文小学校の合唱、大垣西高校の和太鼓演奏がありました。そして、12時半からは、元気ハツラツ市初の試みである、ぎふチャンラジオ公開生放送がありました。松本実行委員長の挨拶では、「元気ハツラツ市は6年前に始まりました。何でもありでやっています。例えば今日は、大垣公園の東交差点の南でフット

サル大会あり、無料のフットサルクリニックあり、その横で、FC岐阜の協力によるキックターゲットもやっています。このように、見てよし、参加してよし。飛び入り参加もOKです。」と話していました。



▲新大橋ステージでの小学生の合唱

生放送では、同時開催された「おおがき芭蕉楽市」も紹介されました。「おおがき芭蕉楽市」は、松尾芭蕉の奥の細道の結びの地である大垣が、奥の細道ゆかりの地である都市と交わす観光交流物産展です。この日は、富山県滑川市、福井県敦賀市をメインに、岐阜市、羽島市、垂井町、養老町の物産展がありました。滑川のホタルイカ商品は完売、福井の羽二重餅もなかなか好評のようでした。

そして、メインゲストの演歌歌手の小金沢昇司さんのステージの時は、人だかりとなり、参加者は生のプロの歌に聞き惚れていました。

毎回恒例のスタンプラリーは、6つのチェックポイントを回ってそれぞれのスタ

ンプを集め、全部集めたら抽選で賞品をもらえるというイベントです。アクアウォークからスタートし、ムトウさかや、田中屋せんべい、金蝶堂総本店、大垣城ホール、ナンデモヤ(今月の元気ハツラツ市の商店街スポットライト店)と回り、ゴールは市商連事務所前でした。同時開催として、大垣城ホールでは、大垣歯科医師会主催の「歯の健康フェスティバル」が開催されていました。ホールの中は、歯の応急診断、磨き方の指導、俳句の展示コー



▲同時開催の「歯の健康フェスティバル」も盛況

ナー等で、飽きない工夫がされていました。

松本実行委員長によれば「大垣駅をはさんで南北で街を挙げて共同でやっています。スタンプラリーの景品は、アピタさんに提供してもらっています。」とのことでした。スタンプラリーの順に街を回ると、元気ハツラツ市の全体を体験できました。田中せんべいでは数量限定ワゴンセールもあって、わくわくしながらスタンプラリーができました。

参加者はニコニコと笑顔が絶えず、この元気ハツラツ市を楽しみにしていることがよく判りました。回毎に目玉のイベントが必ずあって、また足を運びたいと思いました。

【参考となるポイント】

- あの手この手のイベント
- 大手スーパーと共同
- 見てよし、参加してよし

高山

6/5(金)～
7/4(土)

待ちに待ったまちゼミ開催！ あんきな街なか講座 まちゼミ

■主催：飛騨高山まちゼミ実行委員会

■後援：高山市・高山商工会議所・高山市商店街振興組合連合会

毎年恒例になりつつある「まちゼミ」が、高山市商店街で開催されました。

「まちゼミ」とは、お店の人が講師となり、プロならではの専門的な知識や情報を無料で受講者に伝える少人数制のゼミです。時間は60分～90分、受講生は4名～6名、事前予約制で、販売行為は一切しないという

もので



▲ポスターが貼られた店先

す。平成25年9月、平成26年6月に続き、今回が3回目です。

全40講座で、「きれい・健康」「つくる」「まなぶ」「あそぶ」「たべる・飲む」に5分類され、1ヶ月の期間で開催されました。

6月20日(土)に高山を訪問し、開催されている6講座の内、2つの講座に参加しました。

ひとつ目の講座は、「飛騨高山アンテナショップ・まるっとプラザ」で「飛騨高山の夏の魅力を再発見!!」と題して、夏のイベント紹介がされていました。スタッフの山本さんから、高根、久々野、丹生川、奥飛騨温泉郷、荘川、国府町、朝日町、飛騨一宮、清見町の夏の行事や見所を、レジュメを基に詳しく話して頂きました。荘川の「どぶじる」と高根の

伝統食「いもきゃもち」の試食もありました。前者は、すりおろした豆腐が入ったお汁で、見た目が「どぶろく」のようなので、「どぶじる」と呼ばれるそうです。后者は、じゃがいもを蒸してつぶしたものに、そば粉を混ぜ団子状にして、焼いて、あぶらえなどをつけて食べます。どちらも珍しい食べ物で、参加者から笑顔が溢れていました。質問も自由に飛び交い、和やかな雰囲気の良いゼミでした。



▲「まるっとプラザ」での楽しい講座

まちゼミについて、原実行委員長にお話をお聞きしました。「去年の第2回は34講座で、今回は7講座増えました。高山は観光地で、高山祭などの行事が多いので、まちゼミができる期間は限られています。この季節が一年で丁度いいんです。実行委員は10名ほどですが、皆さん何が何でも続けていくという強い気持ちがありますね。参加者の期待も高く、申し込みは早いです。」と話していました。「チラシにある講座ごとの見出しはとて



▲さるぼぼ・ひだっち作りに熱中する親子

も大切です。一行、二行でわかりやすいものになっています。今さら聞けないことを聞けることを楽しみにしていらっしゃる参加者が多いですね。」とも話していました。

ふたつ目の講座は、「ひだっちさるぼぼSHOP安川店」で、「世界でひとつ!! さるぼぼ・ひだっち作り」に参加しました。5名の定員は既に予約済みでした。自分でアレンジして、世界にひとつのさるぼぼとひだっちを作るもので、お店の方の指導を受けながら、夢中でキャラクター作りをしているお母さんと女の子の微笑ましい姿がありました。

平社長にお話を伺うと、「観光客がもっと足を向けてくれるといいですね。特に、海外の人にどうアピールするかが課題です。ラッキーアイテムとして浸透させたいと思っています。」とのことでした。

古い町並みにも行きましたが、観光客で溢れ、行列のできている食べ物店もありました。この賑わいの中でも「まちゼミ」が開催されればという夢が膨らみ、まちゼミを続ける中で、それも可能だと思いました。



▲古い町並みの賑わい

【参考となるポイント】

- ひと月に亘る地道なイベント
- 参加者の強い期待
- 観光客を呼び込む動線



柳ヶ瀬

6/21(日)

日本・スペイン交流400周年とコラボ SUNDAY BUILDING MARKET

■主催：サンデービルディングマーケット実行委員会・岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会

柳ヶ瀬で毎月第3日曜日に開催されるSUNDAY BUILDING MARKET(サンビルの愛称)が開催されました。「ここでしか出会えないひと、もの、空間」をキャッチフレーズに、街を元気にするマーケットです。今回は区切りの第10回目でした。



▲サンビルの手書き案内板

ハンドメイドショップは100店を越え、人の往来が絶えず、柳ヶ瀬の街にしっかり根付いた定番のイベントになっています。

今回のサンビルの目玉の一つであるセレクトストアーズ(ロイヤルビルの一角で1日



▲オリジナルアイシングクッキー作り



▲オリジナルノート作り

限定のお店)の「Ruban Noeud by さっちゃん工房 × ORGAN活版印刷室」に行きました。6月の第3日曜日は父の日ということで、洋菓子のさっちゃん工房では、父にプレゼントするオリジナルのアイシングクッキー作りがありました。ORGAN活版印刷室でもワークショップがあり、手作りのノートを作ることが出来ました。2冊千円で名前や好きな言葉を表紙に活版印刷するもので、代表の直野香文さんから、自分で鉛の活版を拾うところから丁寧に教えていただき、素人でもかわいいノートが作れました。「宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』で、主人公の少年が活版印刷所でアルバイトする、あの世界を思い出します。」とお話すると、「そうです。あのお話は大好きで、お話の中に活版を拾うところがありますね。名刺を作られるときは、いつでも声をかけてください。お会いして、イメージ作りから始めます。」とのことでした。

わくわく広場(柳ヶ瀬高島屋前)に行くと、「ハローギフ・ハローワールド2015」が同時開催されていました。日本スペイン交流400周年を記念した催しで、ステージの前

は人だかりとなっていました。琴の演奏、フラメンコ、ベリーダンス等があって、まさしく日本と世界の音楽の交流が繰り広げられていました。主催は岐阜県国際交流団体協議会で、岐阜劇場通北商店街振興組合が協力していました。

特に、大きな盛り上がりだったのは、名古屋大学のフォルクローレ同好会による演奏です。「コンドルは飛んでゆく」等の曲に酔いしれて、最後は演奏の素晴らしさに拍手が鳴りやまず、リクエスト演奏「花まつり」のときには、ステージの前に躍りの輪が自然にできていました。

サンビルを眺めてからわくわく広場にきた参加者も見えました。ふたつのイベントが見事にコラボして、確かに、ここでしか出会



▲フォルクローレに踊りの輪

えない人、もの、空間を実感しました。

これからのサンビルがますます楽しみになりました。

【参考となるポイント】

- 月一の適度なリズム
- 参加者の笑顔
- イベント同士の相乗効果

株式会社全国商店街支援センター 平成27年度支援メニュー

★トータルプラン作成支援事業

商店街の限られた人材、資金を有効に活用し、組織力を強化するために、ビジョンや具体的な活性化計画の作成支援を行います。基礎編として、合意形成のプロセスを体験、習得する「ビジョンづくりコース」「調査コース」「プランづくりコース」があり、実践編として、地域商店街活性化法の認定を目指す「認定支援コース」と、認定計画の変更申請等を支援する「フォローアップ支援コース」があります。

【基礎編】(3コース)

①ビジョンづくりコース

講義、実践者による講演およびワークショップでビジョンづくりをサポートします。ワークショップでは、「未来希望図」の作成を行います。

※「未来希望図」とは、参加者が将来の自分

たちの商店街の「ありたい姿」について議論して得たキャッチコピーをもとに作成した1枚のマップあるいはチャートです。

【対象】

商店街(振興組合、事業協同組合、振興組合連合会、任意団体等)、商工会、商店主を中心とした研究会等。

【研修実施回数】

4回(1回2時間)

※実践者による講演の実施がない場合は、3回。

②調査コース

活性化計画を作成するうえで必要となる調査についての講義やワークショップを行います。地域のニーズやマーケットを商店街自らが調査し、分析するためのノウハウを学びます。

【対象】

商店街(振興組合、事業協同組合、振興組合

連合会、任意団体等)、商工会等

【研修実施回数】

4回(1回2時間)

③プランづくりコース

商店街の活性化に向けた中期的(3年程度)なプランの作成を支援します。商店街は主体的にプランを作成することができるように、具体的な手順や考え方について、講義やワークショップを通じてノウハウを学びます。

【対象】

商店街(振興組合、事業協同組合、振興組合連合会、任意団体等)、商工会等

【研修実施回数】

4回(1回2時間)

【実践編】(2コース)

④認定支援コース

地域商店街活性化法※(以下「法」という。)を活用した活性化事業を検討している商店街に対し、法の概要、申請方法の基礎から認定申請に必要な「商店街活性化計画」の作成を支援します。また、認定要件である法人化を必要とする商店街に対しては、別途「法人化研修」を行います。

※「地域商店街活性化法」とは、商店街の活性化のための地域住民の需要に応じた事業活動の推進に関する法律です。商店街ならではの「地域コミュニティの担い手」としての機能を発揮することにより、商店街の活性化を図ることを目的とし、平成21年8月1日に施行されました。

【対象】

商店街(振興組合、事業協同組合、振興組合連合会、任意団体等)

【専門家の派遣回数】

7回～9回

※法人化の場合は3回追加

⑤フォローアップコース

既に法の認定を受けている商店街の事業計画の変更申請をサポートします。

【対象】

商店街振興組合、事業協同組合等

【専門家の派遣回数】

7回(1回6時間)

詳細につきましては、(株)全国商店街支援センターのホームページをご覧ください。

(<http://www.syoutengai-shien.com/>)

■研修会のお知らせ■

岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会

日時：平成27年8月7日(金) 19:00～21:00

場所：柳ヶ瀬あい愛ステーション (岐阜市柳ヶ瀬通2-17)

テーマ：「人が住み、人が集う街づくり」

講師：高松丸亀町商店街振興組合 理事長 古川康造氏

★事務局(ゆ)のヒトリゴト★

皆さん、お久しぶりです！

毎日、スッキリしない日が続いていますね。早く梅雨明けして欲しい気持ちと、梅雨が明けると暑～い夏がやってくるで嫌だなあという気持ちとで複雑です。

先日、高山で開催されているまちゼミに参加して

来ました。「温活」についてのゼミで、詳しいお話をたくさん聞くことができ、とっても勉強になりました。これから暑くなると、どうしても冷たい食べ物や飲み物ばかりになりやすいので、気を付けなくてはと心したのも束の間、扇風機にあたりながらアイスを頬張る事務局(ゆ)でした(笑)

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。